

# ビーチテニス 来春国際大会

砂浜の上でボールを打ち合う「ビーチテニス」を、新たなマリンスポーツの目玉にしたい。そんな動きが、宮崎市で広がっている。来年3月にはサンビーチテニス兼国際テニス連盟の公式戦が開かれることが決定。関係者は「一流のプレーが見られる」と歓迎、愛好者の拡大に期待している。

ビーチテニスは縦8メートル、横16メートルの板状のラケットで乗るボールを打ち、ネットは高さ1・7メートル、ボールをバウンドさせず空中で打ち合うのが特徴だ。米国やヨーロッパでは人気のスポーツだが、日本での普及が本格化したのは4年ほど前。日本ビーチテニス協会の大住寛さん(43)によると、砂浜での競技のため撮影がけずけ足腰が鍛えられ、健康増進スポーツとして

全国で愛好者が増えているという。

県内では宮崎市のみやぎスポーツ公園で指導員講習者NPKと県テニス協会が、2009年から毎年、サンビーチ大会を開き、普及に努めてきた。こうした実績に加え、砂浜の美しさや周囲に宿泊施設があるといった要素が日本ビーチテニ

ス協会に評価され、公式戦の開催にこぎ着けた。

NPKは7月から、土日限定で北ビーチに専用コートを開設。ラケットとボールも貸し出す。NPKの茂山宏美さん(50)は「一度体験して、楽しむ意味ってほしい」と話す。

5日には同じビーチで3回目の大会が開かれ、テニス経験者ら男女86組が参加。砂浜に足を取られて苦戦する姿も見られたが、時間がたつにつれ好プレーも飛び出し、会場に歓声が響いていた。

## 期待普及スポーツ新 サビニ



サンビーチテニス兼で5日に開かれた第3回大会で熱戦を繰り広げた参加者

第3回大会開催

ビーチテニスは縦8メートル、横16メートルの板状のラケットで乗るボールを打ち、ネットは高さ1・7メートル、ボールをバウンドさせず空中で打ち合うのが特徴だ。米国やヨーロッパでは人気のスポーツだが、日本での普及が本格化したのは4年ほど前。日本ビーチテニス協会の大住寛さん(43)によると、砂浜での競技のため撮影がけずけ足腰が鍛えられ、健康増進スポーツとして